

第 65 回 景気動向アンケート報告

(2023 年 1 月～4 月期)

○景況感改善、前期▲11→今期+2→来期+14

- ・今期+2 は、前期▲11 比+13 ポイント改善
- ・来期+14 は、今期比+12 ポイント改善見込む

○「売上」「収益」の 2 指標、今期に続き、来期も改善

- ・「資金繰り」は今期改善も、来期は悪化

○「卸売り」「製造」「建設」の 3 業種、今期改善に貢献

- ・「建設」「対個人サービス」「対事業サービス」は来期貢献見込み
- ・「小売」は、依然厳しい

○企業を取り巻く情勢のなかで、関心上位は？

- ①「材料費高騰」 ②「インボイス制度」 ③「DX」
④「Chat GTP」 ⑤「AI」

鹿児島県中小企業家同友会、政策委員会景気動向調査部会は、2023(R5)年 6 月 12 日、「2023 年 1-4 月期（以下「今期」という）」の県内・会員企業に対する景気動向調査の結果をまとめたので、報告致します。

1. 「全体業況」の推移評価

(1) 2021 年からの全体業況の推移

年・期ごと DI	1-4 月期 DI		5-8 月期 DI		9-12 月期 DI	
		前年同 期比		前年同 期比		前年同 期比
2021 年	▲2		▲9		+9	
2022 年	▲7	▲5	▲21	▲12	(前期) ▲11	▲20
2023 年	(今期) +2	+9	(来期) +14	+35	—	—

(2) 今回調査（景況感・業況判断の方向感）

- ① 今期+2 は、びたり前回調査時の見通し通りで、前期▲11 比+13 ポイント改善した。
更に、前年同期（▲7）比でも+9 ポイント改善である。
- ② 来期+14 は、今期（+2）比+12 ポイント改善を見込む。前年同期（▲21）比+35 は、大幅改善で、2 期連続で対前年同期比の改善見通し。
- ③ 2021 年、2022 年の 6 期中、2021 年 9-12 月期（+9）1 期しか無かったプラス領域の判断が、今期（+2）実績となり、来期も引き続きプラス領域の推移となる見通し。

2. 「全体業況」改善と「個別指標」（売上、収益、資金繰り）

個別指標 DI	全体 DI		売上 DI		収益 DI		資金繰り DI	
前期	▲11	+10	±0	+2	▲1	+21	▲1	▲2
今期	+2	+13	+4	+4	+4	+5	+7	+8
来期	+14	+12	+16	+12	+9	+4	▲2	▲9

- ① 「全体業況」（前期▲11→今期+2→来期+14）改善要因は、3指標中「売上」「収益」が、ともに順調に改善した点にある。
- ② 「売上減少」「経費増」について克服する努力が着実に実を結んでいると見ることができる。
- ③ 一方、「資金繰り」は、今期+7→来期▲2が、▲9ポイント悪化であり、企業家、金融機関、行政それぞれ資金確保・資金供給の施策が求められる。

3. 「全体業況」改善と「業種別業況」（下表の「Z比」は「前期比」を表す）

業種 DI	全体 DI		製造 DI		建設 DI		卸売 DI		小売 DI		サービス			
											対事業所 DI		対個人 DI	
前期	▲11	+10	▲47	+20	▲27	▲18	▲33	+7	▲20	+43	+7	+5	+24	+34
今期	+2	+13	▲18	+29	▲8	+19	+56	+89	▲25	▲5	+8	+1	+12	▲12
来期	+14	+12	▲18	±0	+8	+16	+44	▲12	▲25	±0	+21	+13	+27	+15

- ① 今期 DI は、良い順に「+56 卸売り」「+12 対個人サービス」「+8 対事業サービス」「▲8 建設」「▲18 製造」「▲25 小売」の順。前期比改善ポイントは、良い順に「+89 卸売り」「+29 製造」「+19 建設」「+1 対事業サービス」「▲5 小売」「▲12 対個人サービス」の順。
- ② 来期 DI は、良い順に「+44 卸売り」「+27 対個人サービス」「+21 対事業サービス」「+8 建設」「▲18 製造」「▲25 小売」の順。今期比改善ポイントは、良い順に「+16 建設」「+15 対個人サービス」「+13 対事業サービス」「±0 製造」「±0 小売」「▲12 卸売り」の順。
- ③ 今期の業況改善に貢献したのは、「卸売り」「製造」「建設」の3業種、来期は、「建設」「対個人サービス」「対事業サービス」が貢献する見込み。ただ、3期の流れから特に「製造」「小売」の2業種については、企業家の経営努力に加え、金融機関、行政等の支援が求められる。

4. まとめ

全体業況（前期▲11→今期+2→来期+14）改善流れの中身は、上述の「2. 個別指標別の推移」、「3. 業種別指標の推移」で述べた通りとなる。

景況の明るい兆しに水を差さぬために、特に次の2点を再度強調したい。

- ① 「資金繰り」面の各企業・業界の努力、各種の支援の必要性
- ② 「製造業」「小売業」の各企業・業界の努力、各種支援の必要性

概 要

○「経営上の問題点」、及び「経営上の力点」

- ① 「経営上の問題点」TOP3は、別添資料の通り、1位「仕入れ価格の上昇」、2位「従業員の不足」、3位「売上の減少」の順。以下4位「人件費増加」が急上昇、5位「受注競争の激化」等と続く。
- ② 「経営上の力点」TOP3は、別添資料の通り、1位「付加価値の増大」、2位「人材確保」、3位「新規受注（顧客）の確保」の順。以下4位「新規事業の展開」5位「得意分野の絞込み」等と続く。「社員教育」は、6位となった。
- ③ 「経営上の力点」1位の「付加価値の増大」は、何故不動の1位の座にあるのか？
「付加価値」には、a. 生産によって新たに加えられた価値、b. 総生産額から原材料費・燃料費・減価償却費などを差し引いた額、c. 商品やサービスが本来持っている価値に、プラスアルファで付け加える価値（他社の類似商品と明確な違いを打ち出すことで、顧客にアピールし売上の拡大を狙う）等々の意味合いがある。「経営上の問題点」1位「仕入れ価格の上昇」3位「売上の減少」4位「人件費増加」5位「受注競争の激化」いずれとも関連対応するものと言え、不動の1位の座にあることも頷ける。

○今回調査：「企業を取り巻く情勢のなかで、関心のある順に上位5つ…」

別添資料の通り。

順位付け「1位の回答」が多い順に並べると、①「材料費高騰」②「Chat GTP」③「インボイス制度」④「DX」⑤「今後の時間外手当（2024年問題）」、同「ゼロゼロ融資の返済」の順。順位付け1位から5位に各々5ポイントから1ポイント付与しての合計点数では、多い順に①「材料費高騰」②「インボイス制度」③「DX」④「Chat GTP」⑤「AI」となった。

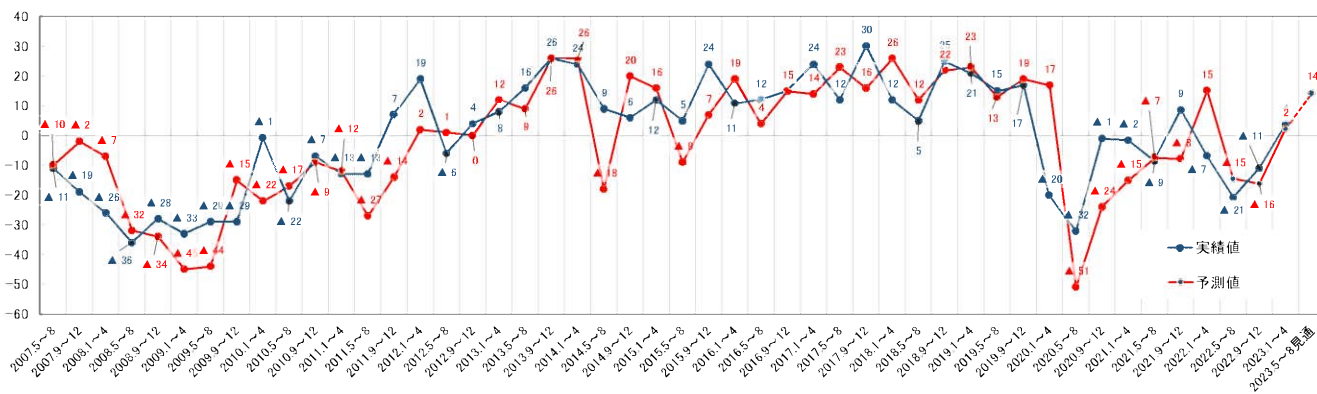
本調査を契機として、経営者が、あらためて自社を取り巻く諸情勢につき認識分析し、経営施策を決定する上での何らかの判断材料となればと思います。

設問に真摯に回答いただいた皆様に感謝致します。

- 1. 対象企業 鹿児島県中小企業家同友会会員企業（455社）
- 2. 対象期間 2022年9月～12月期実績、2023年1月～4月見通し
- 3. 調査方法 WEB、FAX
- 4. 回答企業数 133社より回答を得た（回答率29.2%）

次回以降も引き続きご協力、宜しくお願い致します(部会一同)。

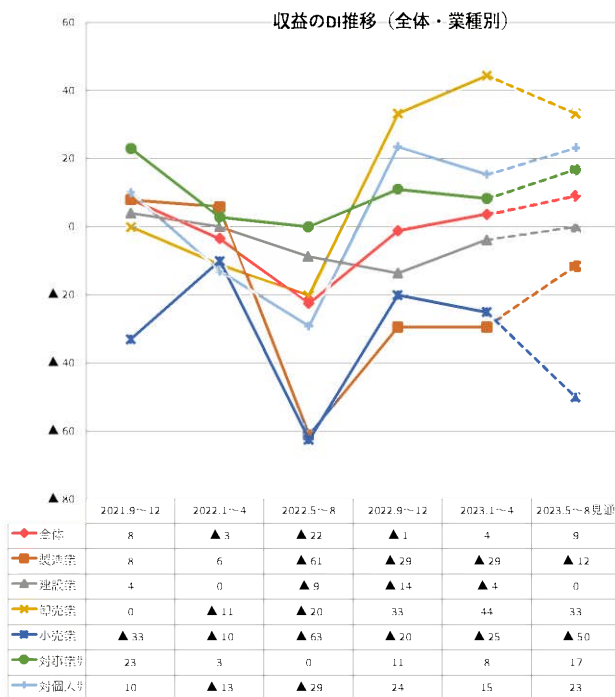
全体業況DI値グラフ(実績値と予測値)



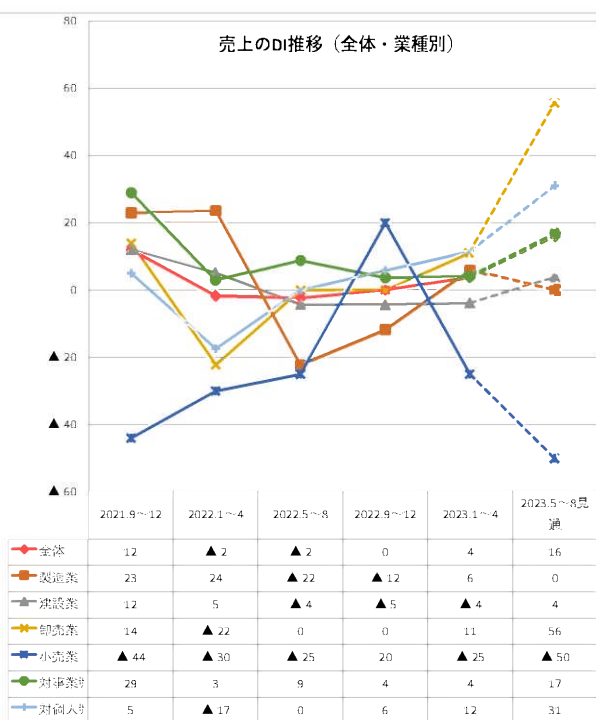
業況のDI推移 (全体・業種別)



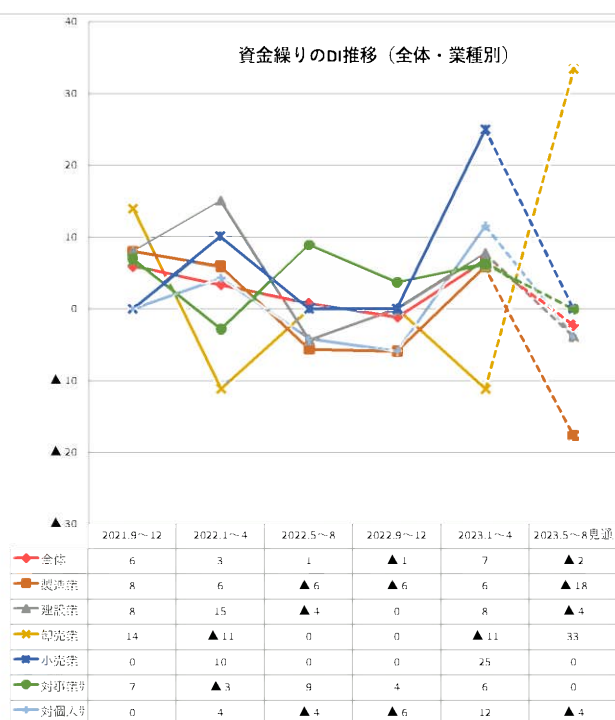
収益のDI推移 (全体・業種別)



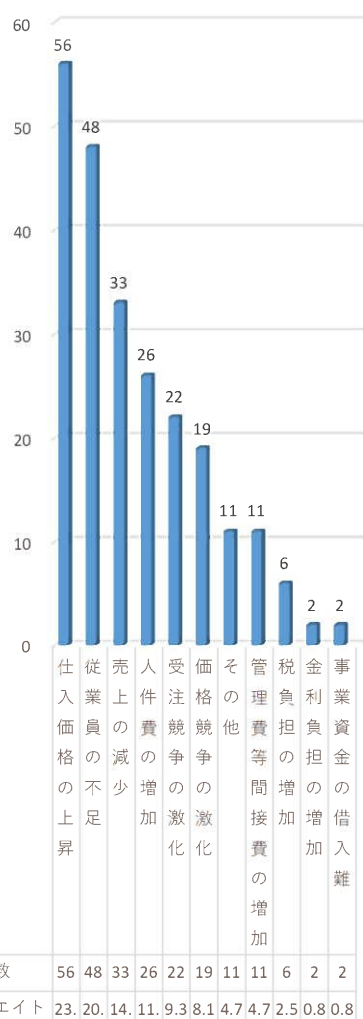
売上のDI推移 (全体・業種別)



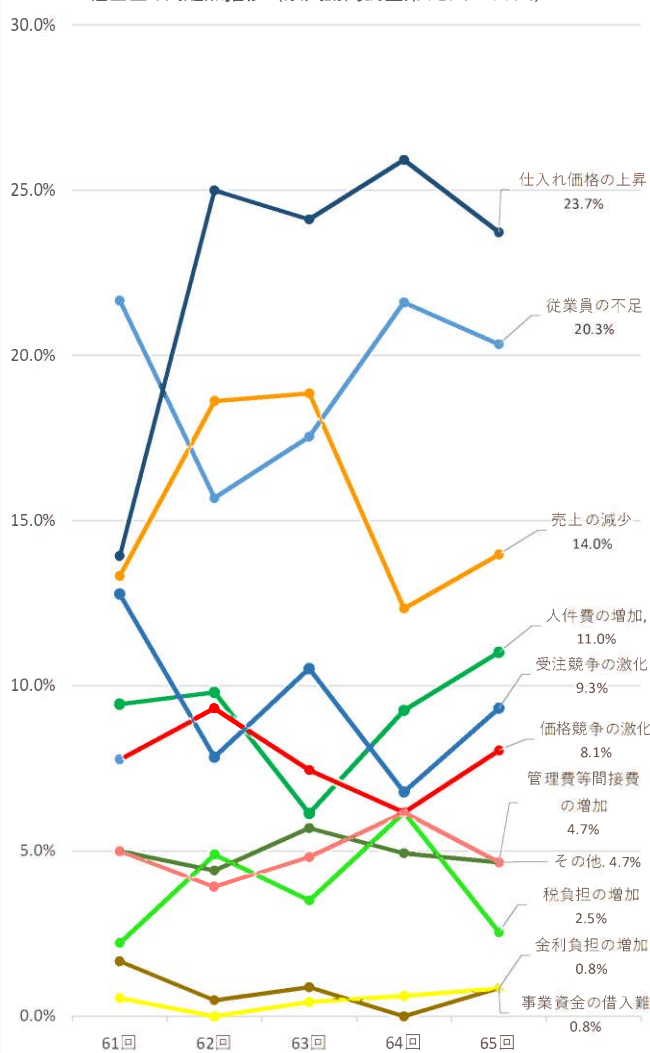
資金繰りのDI推移 (全体・業種別)



経営上の問題点（景気動向調査第65回）



経営上の問題点推移（景気動向調査第61回～65回）

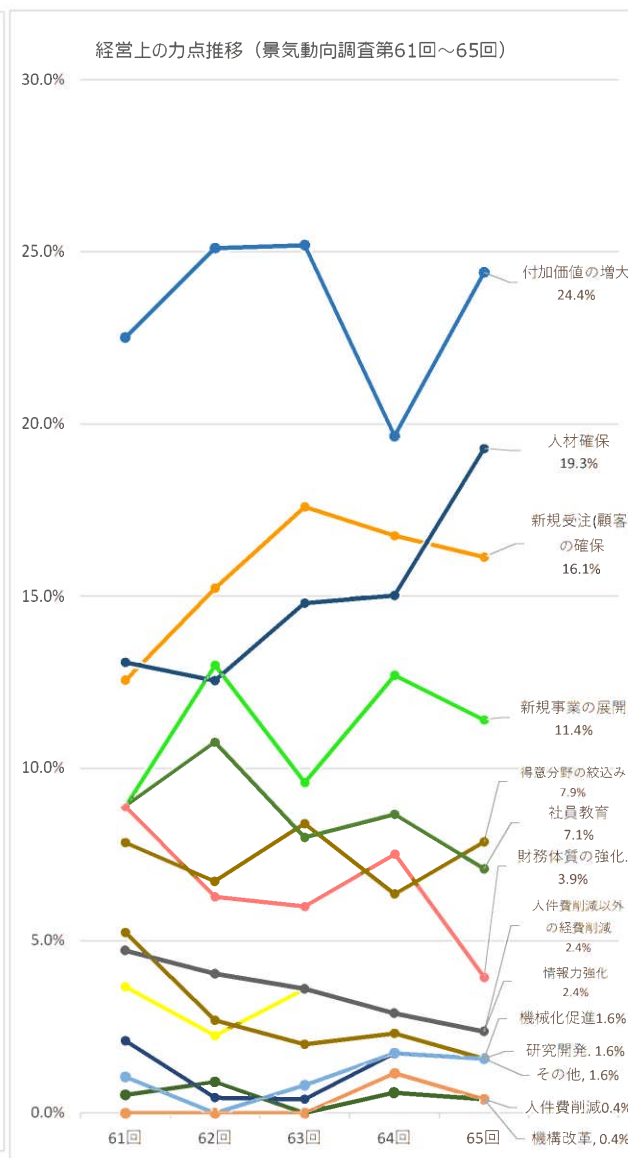
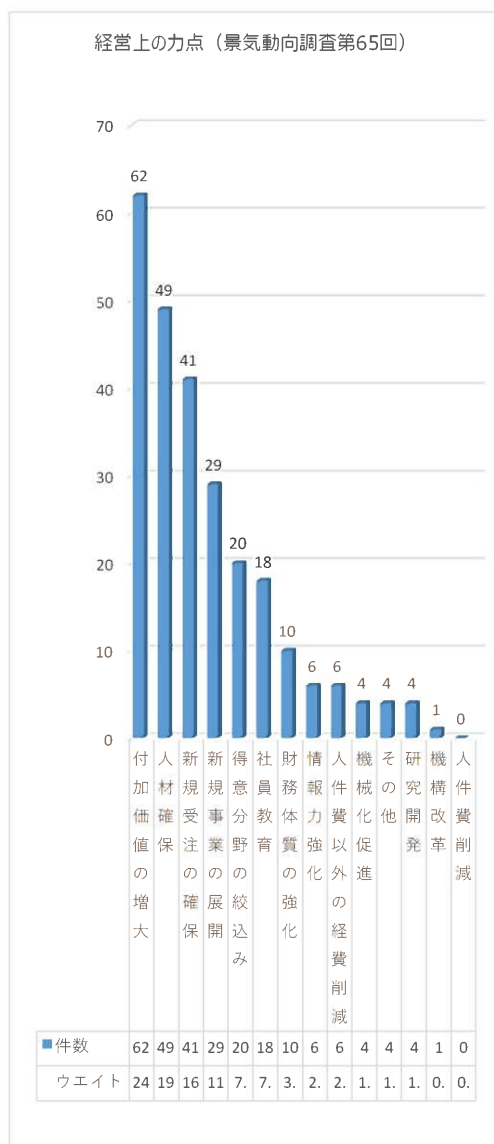


	件数	ウェイト
仕入価格の上昇	56	23.7%
従業員の不足	48	20.3%
売上の減少	33	14.0%
人件費の増加	26	11.0%
受注競争の激化	22	9.3%
価格競争の激化	19	8.1%
その他	11	4.7%
管理費等間接費の増加	11	4.7%
税負担の増加	6	2.5%
金利負担の増加	2	0.8%
事業資金の借入難	2	0.8%
	236	100.0%

	61回	62回	63回	64回	65回
従業員の不足	21.7%	15.7%	17.5%	21.6%	20.3%
人件費の増加	9.4%	9.8%	6.1%	9.3%	11.0%
価格競争の激化	7.8%	9.3%	7.5%	6.2%	8.1%
売上の減少	13.3%	18.6%	18.9%	12.3%	14.0%
受注競争の激化	12.8%	7.8%	10.5%	6.8%	9.3%
仕入価格の上昇	13.3%	25.0%	24.1%	25.9%	23.7%
管理費等間接費の増加	5.0%	4.4%	5.7%	4.9%	4.7%
その他	5.0%	3.9%	4.8%	6.2%	4.7%
税負担の増加	2.2%	4.9%	3.5%	6.2%	2.5%
事業資金の借入難	1.7%	0.5%	0.9%	0.0%	0.8%
金利負担の増加	0.6%	0.0%	0.4%	0.6%	0.8%

その他

- ・無形の商品を提供しています。他業種の方々の仕入れと同じ意味であるインプット（例えば研修や書籍等）の価格が以前より値上げしているように感じております。またコロナがあげたことで、リアル開催が増え、県外に行くことが増えており、また増えてきそうなため、仕入れとしての今後の見通しは不透明です。
- ・ビジネスのストック化
- ・インボイス制度の導入
- ・新規顧客獲得（対外告知）
- ・広告宣伝
- ・事務手続きの効率化
- ・経費/電気代の増加
- ・主な事業である講演会・教室の開催が、依然としてコロナ禍の収束の見通しの予測が立たない事から、開催を自粛せざるを得ない状況が続いている。
- ・教育レベルの低さ、管理者の意識改革
- ・営業
- ・業務量の増加



	件数	ウェイト
付加価値の増大	62	24.4%
人材確保	49	19.3%
新規受注の確保	41	16.1%
新規事業の展開	29	11.4%
得意分野の絞込み	20	7.9%
社員教育	18	7.1%
財務体質の強化	10	3.9%
情報力強化	6	2.4%
人件費以外の経費削減	6	2.4%
機械化促進	4	1.6%
その他	4	1.6%
研究開発	4	1.6%
機構改革	1	0.4%
人件費削減	0	0.0%

254 100.0%

その他

- ・ 市場の情報収集
- ・ 事務手続きの効率化
- ・ DX化
- ・ 業務効率化

	61回	62回	63回	64回	65回
新規受注(顧客)の確保	12.6%	15.2%	17.6%	16.8%	16.1%
人材確保	13.1%	12.6%	14.8%	15.0%	19.3%
付加価値の増大	22.5%	25.1%	25.2%	19.7%	24.4%
社員教育	8.9%	10.8%	8.0%	8.7%	7.1%
得意分野の絞込み	7.9%	6.7%	8.4%	6.4%	7.9%
新規事業の展開	8.9%	13.0%	9.6%	12.7%	11.4%
財務体質の強化	8.9%	6.3%	6.0%	7.5%	3.9%
人件費削減以外の経費削減	3.7%	2.2%	3.6%	2.9%	2.4%
情報力強化	4.7%	4.0%	3.6%	2.9%	2.4%
機械化促進	5.2%	2.7%	2.0%	2.3%	1.6%
研究開発	2.1%	0.4%	0.4%	1.7%	1.6%
人件費削減	0.5%	0.9%	0.0%	0.6%	0.4%
その他	1.0%	0.0%	0.8%	1.7%	1.6%
機構改革	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.4%

企業を取り巻く情勢のなかで、関心のある順に上位5つまで番号（1～5）を記入してください。

【回答数】

※順位でなく○などチェックのみの回答は3位扱い
※回答ルール「1位～5位の5つを回答」を満たさない回答は、そのまま回答内容を採用
例) 1位を2つ選択、全選択肢を選択

	1位	2位	3位	4位	5位	該当しない	合計
Chat GPT	19	10	14	8	10	72	133
今後の時間外手当（2024年問題）	9	11	17	7	6	83	133
材料の高騰	47	8	15	4	9	50	133
ゼロゼロ融資の返済	9	9	7	2	5	101	133
月60時間超の時間外労働の割増率の引き上げ	4	16	10	13	6	84	133
インボイス制度	14	16	27	10	6	60	133
AI（人工知能）	8	13	16	10	7	79	133
キャッシュレス決済	4	4	13	8	4	100	133
脱炭素（カーボンニュートラル）	4	6	12	6	5	100	133
インバウンド需要	2	4	7	5	11	104	133
ドルフィンポート跡地	3	3	6	3	5	113	133
鹿児島県の観光	8	1	11	7	8	98	133
鹿児島国体	3	3	12	5	8	102	133
DX	13	14	21	14	6	65	133
SDGs	6	8	11	4	13	91	133
新型コロナウイルス問題	3	7	11	4	4	104	133
その他①	3	4	1	1	0	124	133
その他②	0	2	2	0	2	127	133
その他③	0	1	1	0	0	131	133
その他④	0	1	0	1	0	131	133
その他⑤	0	0	1	0	1	131	133
合計	159	141	215	112	116	2050	2793

その他回答

- 1位 生産性向上による人手不足対策
- 1位 団塊の世代の後期高齢化
- 2位 中途、新卒人材確保
- 2位 山形屋周辺の景気
- 2位 介護保険・医療保険法改正
- 3位 電気代の高騰
- 3位 名山町の再開発
- 5位 残業時間の上限

【ポイント数】

順位に応じ選択肢にポイントを割り振り集計しました。1位＝回答数×5ポイント…5位＝回答数×1ポイント。

	1位	2位	3位	4位	5位	該当しない	合計
	5ポイント	4ポイント	3ポイント	2ポイント	1ポイント	0ポイント	
1 材料の高騰	235	32	45	8	9	0	329
2 インボイス制度	70	64	81	20	6	0	241
3 DX	65	56	63	28	6	0	218
4 Chat GPT	95	40	42	16	10	0	203
5 AI（人工知能）	40	52	48	20	7	0	167
6 今後の時間外手当（2024年問題）	45	44	51	14	6	0	160
7 月60時間超の時間外労働の割増率の引き上げ	20	64	30	26	6	0	146
8 SDGs	30	32	33	8	13	0	116
9 ゼロゼロ融資の返済	45	36	21	4	5	0	111
10 鹿児島県の観光	40	4	33	14	8	0	99
11 脱炭素（カーボンニュートラル）	20	24	36	12	5	0	97
12 キャッシュレス決済	20	16	39	16	4	0	95
13 新型コロナウイルス問題	15	28	33	8	4	0	88
14 鹿児島国体	15	12	36	10	8	0	81
15 インバウンド需要	10	16	21	10	11	0	68
16 ドルフィンポート跡地	15	12	18	6	5	0	56
17 その他①～⑤合計	15	32	15	4	3	0	69
合計	795	564	645	224	116	0	2344